

第7回 生物の多様性を育む 農業国際会議

ICEBA7
2025



7.12(土)
13(日)

小松島市 (徳島県小松島市小松島町新港 9-10)
サウンドハウスホール

ラムサールCOP10において採択された水田決議に立ち返り、水田の湿地システム（機能）の有効性と「中干ししない」米づくりで、生きものを増やし、食物連鎖が豊かな生態系を再生することに貢献することを実証し、そのことを全国に向けて発信する機会とします。

基調講演①

10:40 ~ 11:55

里山景観における田んぼのアグロエコロジー 講演会 ～水田生物多様性と持続可能な食農の結びつき～

日鷹一雅 (学術博士・元愛媛大学 農学部生物環境学科 准教授)
(日本農業農村工学会 農村生態工学研究部会 専任理事)
(NPO 西日本アグロエコロジー協会 理事)

基調講演②

13:00 ~ 14:15

持続可能な水田を実現するために ～生物多様性と水循環の再生～ 講演会

吉田太郎 (フリージャーナリスト、NPO 日本有機農業研究会理事)

現地圃場での取り組み

- ・生き物の調査と地域風土を学ぶ
- ・14:30 ~ 14:45 (予定) 生きもの調査現地中継

今後の展望を語る

14:45 ~ 16:30

生物多様性から子どもの食を考える

勝野美江 (農林水産省大臣官房審議官 元徳島県副知事)
山田正彦 (元農林水産大臣 弁護士)
浅野正富 (栃木県小山市長 ラムサール・ネットワーク日本理事)

7.12 sat

10:00

参加費無料

16:30

ブース出展

地域物産の
販売・アピール



9:00 ~ 10:00

小松島市檳淵エリア地域を視察 (定員: 40名)

分科会① 会場 サウンドハウスホール

10:30 ~ 12:30

田んぼを中心とした周辺環境の生物多様性維持拡大

- ・各地で実施の生きもの調査について報告。気温など環境の変化による影響についてのパネルディスカッション。
- ・韓国や台湾からの取り組み状況も報告。

分科会② 会場 JA 東とくしま・あいさい広場

10:10 ~ 12:10

温暖化防止と生物多様性のトレードオフを超えて

- ・温暖化防止と生物多様性のトレードオフを超えるヒントを探るパネルディスカッション。

分科会③ 会場 JA 東とくしま・あいさい広場

10:10 ~ 12:10

行政・生産者・卸/小売り・消費者の間でパネルディスカッション

- ・環境保全に取り組み生産された農産物の生産と消費が広がるために行政・生産者・卸/小売り・消費者の各立場から現状共有、今後の推進アイデア創造するパネルディスカッション。

分科会④ 会場 サウンドハウスホール

10:30 ~ 12:30

ICEBA (生物の多様性を育む農業) が育くんできた、 地域の経済・人材そして故郷への誇り

- ・今後の ICEBA の展望、ゴールの共有・再確認して、参加者に各地域からのメッセージを伝える。

報告の部

会場 サウンドハウス
ホール

- ・13:20 ~ 13:50 徳島県小松島市檳淵エリア圃場での生きもの調査報告 (1日目実施)
- ・13:50 ~ 14:05 「中干ししない」米づくりを実践している地元高校生の取り組み報告
- ・14:15 ~ 15:15 分科会報告①~④ (各15分)

7.13 sun

参加費無料

9:00

15:50



主催: 小松島市生物多様性農業推進協議会 (小松島市・JA 東とくしま・コープ自然派) 協力: ラムサール・ネットワーク日本
後援: 農林水産省・環境省・国土交通省 四国整備局 那賀川河川事務所・四国 E P O

7.12 (土) 10:00 - 16:30

参加費無料



基調講演①

10:40 ~ 11:55

基調講演②

13:00 ~ 14:15

里山景観における田んぼのアグロエコロジー 講演会 ～水田生物多様性と持続可能な食農の結びつき～

日鷹一雅 (学術博士・元愛媛大学 農学部生物環境学科 准教授)
(日本農業農村工学会 農村生態工学研究部会 専任理事)
(NPO 西日本アグロエコロジー協会 理事)

そもそも生物多様性とは何か？という根本問題を多角的に解説、多様なステークホルダーの参加者の皆さんと共有しながら、生物多様性と共に在る持続可能な食農システムのあり方について考えてみたいと思います。コメ騒動の今こそ、ただの生物の多様性だけにこだわらずに、一歩も二歩も田んぼのある地域景観、山里海にまで踏み込んで、在地の農生物多様性、農多様性、食多様性の保全再生こそが急務であります。

持続可能な水田を実現するために ～生物多様性と水循環の再生～ 講演会

吉田太郎

(フリージャーナリスト、NPO 日本有機農業研究会理事)

気候変動や紛争等から食料安全保障は最優先課題となる中、持続可能な水田の実現は、喫緊の課題となっています。いまこそ世界でも類のない循環型社会を築いてきた古来の叡智に学び、風土の里山や里海の資源を活かしつつ、水田を核に、生物多様性保全と水循環の再生をすすめ、食料自給率の向上と地域経済の再生を図る必要があります。

現地圃場での取り組み

生き物の調査と地域風土を学ぶ

14:30 ~ 14:45 (予定) 生きものの調査現地中継

ブース出展

地域物産の販売・アピール

今後の展望を語る

14:45 ~ 16:30

生物多様性から子どもの食を考える

勝野美江 (農林水産省大臣官房審議官 元徳島県副知事)

山田正彦 (元農林水産大臣 弁護士)

浅野正富 (板木県小山市長
ラムサール・ネットワーク日本理事)

私たちの生活は、様々な生きものとそのつながり(生物多様性)で支えられています。子どもにとって、食事は食べ物が自然の恵みからできた生きものであることを実感する機会となり、食べ方は地域ごとの食文化に触れる機会となります。登壇者の皆様からは、生物多様性と「食育・学校給食の有機化」など子どもの食に関連する取組(過去・現在進行)や事がらを共有いただきます。



7.13 (日) 9:00 - 15:50

参加費無料



小松島市櫛淵エリア地域を視察

(定員: 40名)

分科会② 会場 JA 東とくしま・あいさい広場 10:10 ~ 12:10

温暖化防止と生物多様性の トレードオフを超えて



座 長: 大塚泰介 (滋賀県立琵琶湖博物館 総括学芸員 農学博士)

報告者: 館野廣幸 (NPO 法人民間稲作研究所 理事長)

: 西田聖 (JA 東とくしま 参与)

: 中島佳子 (カゴメ株式会社 小牧工場生産技士 栄養学博士)

生きものを育む田んぼと、安定生産を実現する稲作との相関性や、水田のメタン抑制との関係について、そのメカニズムや実践事例を融合させることにより、温暖化防止と生物多様性のトレードオフを超えるヒントを探ります。

分科会③ 会場 JA 東とくしま・あいさい広場 10:10 ~ 12:10

環境保全に取り組み生産された農産物の 生産と消費が広がるためには？

座 長: 関健志 (公益財団 日本生態系協会 専務理事)

報告者: 今林利恵子 (農林水産省農産局農業環境対策課 課長補佐)

: 柏田要子 (JA 東とくしま 常務理事)

: 辰巳千嘉子 (コープ自然派事業連合 副理事長)

行政・生産者・卸/小売り・消費者の各立場から現状をどの様に理解しているかを共有し、ディスカッション形式で今後の推進アイデアを創造します。

分科会① 会場 サウンドハウスホール

10:30 ~ 12:30

田んぼを中心とした周辺環境の 生物多様性維持拡大



座 長: 船橋玲二 (NPO 田んぼ 理事長)

報告者: 林点香 (韓国水田湿地ネットワーク)

: 李文珍 (台南市官田水雉生態教育園區 主任)

: 高橋清孝 (NPO 法人シナイモツゴ郷の会 理事長)

: 大田直友 (NPO 徳島保全生物学研究会代表理事)

報告者による個別報告の後、気温など環境の変化による影響について、この先懸念される事案の共有をパネルディスカッション形式で行い、韓国や台湾からの取り組み状況も報告いただきます。

分科会④ 会場 サウンドハウスホール

10:30 ~ 12:30

ICEBA(生物の多様性を育む農業)が 育くんできた、地域の経済・人材 そして故郷への誇り



座 長: 呉地正行 (日本雁を保護する会会長)

報告者: 茨木昭行 (小松島市産業振興部農林水産課 主査)

: 浪華誠 (豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 課長)

: 中村長生 (佐渡市農林水産部農業政策課 課長)

: 鈴木耕平 (大崎市産業経済部農政企画課世界農業遺産未来戦略室自然環境専門員)

: 小久保智史 (小山市総合政策部セ「ローボ」・ネイチャー・ボジティブ推進課 課長補佐)

: 手塚幸夫 (房総野生生物研究所 代表)

: 柴折史昭 (認定 NPO とくしまコウノトリ基金 事務局長)

報告の部

会場 サウンドハウス
ホール

13:20 ~ 13:50 徳島県小松島市櫛淵エリア圃場での生きものの調査報告 (1日目実施)

13:50 ~ 14:05 「中干ししない」米づくりを実践している地元高校生の取り組み報告

14:15 ~ 15:15 分科会報告①~④(各15分)

15:15 ~ 15:30 ICEBA7.5 引継ぎ式

15:30 ~ 15:50 小松島市宣言・閉会

お問合せ: 生活協同組合コープ自然派しこく 本部 組織企画課

住所: 〒779-0102 徳島県板野郡板野町川端字川敷田 11 番 1 電話: 088-624-9200 (土日を除く 9:30 ~ 17:00)

お申込みはこちら

